

モデル事業名	滋賀県湖北地域移住・交流サポートシステム構築事業
活動団体名	いざない湖北定住センター
ホームページ	http://cohokstyle.shiga-saku.net/
所属/担当者名	事務局 豊田 綾
連絡先	電話：0749-50-1019 E-Mail：cohok-style@leto.eonet.ne.jp
活動地域	滋賀県湖北地域（長浜市・米原市）

● **活動地域の概要**

- ・滋賀県湖北地域では、地域の中核である旧長浜市を除き人口は減少している。とくに旧余呉町、旧西浅井町、旧木之本町では10%超の減少率である。（※旧長浜市も市街地周辺部の一部を除けば人口減は同様である。）
- ・高齢化率はいずれも20%を超えている。なかでも旧余呉町は30%を超え、旧木之本町、旧西浅井町もまもなく30%を超えるのは必至の状況にある。
- ・高齢化率が50%を超える集落が8集落を数え、その予備軍とも言える55歳以上人口比率50%超の集落が19集落存在している。今後、高齢化率50%超過集落は加速的に増加することが予想される。



高齢化率50%を超える集落では空き家が急増（米原市）



琵琶湖畔に建つ古民家、都市からの移住者が再生（旧西浅井町）

周辺図



表 人口・高齢化の現状

市町	平8人口	平20人口	増減率	高齢化率	50%超集落
米原市	40,637	40,609	▲0.1%	24.7%	2 (6)
旧長浜市	78,051	83,785	7.3%	21.0%	0 (5)
旧虎姫町	5,996	5,541	▲7.6%	24.9%	—
旧湖北町	9,001	8,922	▲0.9%	23.6%	—
旧高月町	10,993	10,101	▲8.1%	22.5%	—
旧木之本町	9,505	8,194	▲13.8%	29.8%	2 (4)
旧余呉町	4,380	3,702	▲15.5%	33.8%	4 (4)
旧西浅井町	4,983	4,468	▲10.3%	29.6%	—
計	163,546	165,322	1.0%	23.2%	8 (19)

※ 人口は住民基本台帳 平8.11.1および平20.7.1時点

※ 「50%超集落」欄の数値は、高齢化率50%を超える集落数。

() 内は55歳以上人口が50%超の集落数。「—」はデータなし。

「滋賀県中山間地域過疎高齢化集落問題研究会」資料による。

● **活動地域の課題**

- ・滋賀県は、全国的にみても人口の増加率が高く、高齢化率は低い県であるが、県内における南北格差は大きく、北部の山間地域では、全国的な状況と同じように、人口減少が進み、高齢化率が高い状況を迎えている。
- ・湖北地域においても、中山間地域を中心に基礎的条件が厳しいところでは、過疎化や高齢化が進行し、高齢化率が50%を上回る集落が生じる状況となっている（上述の通り）。その予備軍とも言える集落も数多く存在しており、地域力の低下により集落の基本的な機能維持さえ困難な状況を迎えるところが今後生じてくることが懸念され、これら地域の活性化対策が急務となっている。
- ・それぞれの地域での自立的な取り組みを促していくことはもちろんのこと、これらの活動を支援していくための仕組みづくりが課題である。

● 活動の内容

(全体) ……平成 20・21 年度 (モデル事業期間) の取り組み

- 移住・交流居住に向けた田舎暮らし体験プログラムの企画・運営
 - 移住交流サポート組織の立ち上げ準備 (研究会での協議、先進事例調査等)
 - 「移り住むなら滋賀県・湖北 田舎暮らしフェスタ 2009in 余呉」の開催
 - 「移り住むなら滋賀県・湖北 交流居住を応援する湖北人のフォーラム」の開催
- (直近 1 年間の進捗など) ……平成 22 年度 (モデル事業以降) の取り組み
- 移住交流サポート組織「いざない湖北定住センター」の設立
 - 「移り住むなら滋賀県・湖北 田舎暮らしフェスタ 2010in 伊吹」の開催
 - 空き家見学会の開催、地域づくり団体によるイベント実施の支援 ほか



田舎暮らしフェスタ 2009in 余呉
(2009/11/01)

● 活動の成果

・全体

- 移り住むなら滋賀県・湖北 交流居住を応援する湖北人のフォーラム
「田舎暮らしフェスタ 2009in 余呉」では、当初の予想を超える参加者を得た。この経験を次につなげ、第 2 回田舎暮らしフェスタを開催するため、フォーラムを開催し、「湖北田舎暮らしフェスタ実行委員会」への参画を広く募った。受け入れ側の地域や民間事業者などと田舎暮らしを望むフェスタ参加者を交えた討論会を行い、次回田舎暮らしフェスタへつながるフォーラムとなった。
- 体験プログラムの企画・運営
いざない湖北定住センターでは空き家見学会を企画・運営している。(3 回開催)
また、地域づくり団体が行うイベントの情報発信や受付窓口、当日運営などの支援を行うことにより、地域住民との連携を深めている。



湖北人のフォーラム (2010/3/7)

・直近 1 年間の成果など

- 移住交流サポート組織「いざない湖北定住センター」の設立
平成 21 年度までの研究会組織「湖北移住交流支援研究会」を発展的に改組し、移住交流サポート組織である「いざない湖北定住センター」を設立。
平成 22 年 8 月に設立総会を開き、新たな体制で活動 (個人会員 52 名)。
- 移り住むなら滋賀県・湖北 田舎暮らしフェスタ 2010in 伊吹
4 月に、田舎暮らしフェスタ 2009 に出展された団体をはじめ、民間事業者・地域づくり団体・行政・個人などが参画し「湖北田舎暮らしフェスタ実行委員会」を組織した。全体会、部会を重ね、9 月 26 日に東草野小中学校甲津原分校 (滋賀県米原市甲津原) を会場としてフェスタを開催した。昨年を上回る約 600 名の来場者があった。地域住民が主体となって実施した体験プログラム (8 コース) は、移住交流希望者と受け入れ側が直接関わることのできるよい機会となった。また、湖北地域の多様な人材をつなぐ場にもなった。



いざない湖北定住センター設立総会
(2010/8/30)



田舎暮らしフェスタ 2010in 伊吹
(2010/9/26)
・嘉田知事が来場 あいさつの様子

● 今後の課題及び展望

・課題 (活動を通して発見された課題等を記入)

- いざない湖北定住センターの組織体制の充実
湖北地域における同センターの存在・活動をさらに周知しながら、今後、支持者 (正会員、賛助会員等) の拡大を図る必要がある。
また、継続的に活動を進めていくためには、事務局機能を担う人員が不可欠であり、そのための資金 (人件費) をどのように捻出していくかが課題である。
- 地域と民間事業者の連携による移住交流促進のための事業の研究・実践
同センターには、地域づくり団体 (地元コミュニティ組織) と民間事業者 (建築、林業、不動産等) が同居していることが特色である。センターの活動を継続的な取り組みとしていくためには、民間事業者の協力が不可欠と企図したからである。そのため、今後は民間事業者が積極的に移住交流促進に関わっていただけるような動機付け、さらには移住交流の受け入れが事業者の利益にもつながっていくような取り組みについて、研究・実践を重ねていく必要がある。



田舎暮らしフェスタ 2010in 伊吹
(2010/9/26)
・ブースでの相談風景

・展望 (今後の取り組みや検討について記入)

- 田舎暮らしフェスタ 2011 の開催、空き家見学会・空き家調査、地域づくり団体の活動支援など
- 民間事業者との連携による移住交流受入のためのプロジェクト研究